

一般質問での議員からの提言及び市当局の答弁



	政策的提言	提言要旨	当局の考え
1	市臨時職員の労働条件改善について	臨時職員の賃金収入で生活していくには厳しいものがある。賃金管理規程を見直し、賃金職員の労働条件の改善を図る必要があると考える。	臨時職員の処遇については、これまでも改善に努めているところであり、今後とも県内各市の状況を勘案しながら改善に努めたい。
2	本市生徒の大学進学率向上について	宜野座村では、県内予備校と提携して村営学習塾を開き進学率が向上した実績がある。本市も進学率向上のため、県との垣根を越えた取り組みが必要であると考ええる。	学力向上、大学進学率については地域によって諸事情がある。本市教育委員会としては学力向上に向けアンテナを広く持ち、提言などを検討していきたい。
3	船舶燃費軽減装置の導入について	市長の2期目の公約でもあり、漁業者も望んでいる船舶エンジン燃費向上装置の導入支援について早急に取り組む必要があると考える。	エンジンへの付属品に対する補助メニューについては、一括交付金の活用を視野に、採択要件の確認と漁業者のニーズを図りながら検討したい。
4	教育関係者の人材育成について	市内臨時教員の教員採用試験の合格率が他地区と比べ低い状況にある。人材を確保・育成するためにも対策が必要であると考ええる。	地元に採用試験対策講座がないため、週末になると沖縄本島に通って勉強する人もいる。市としても採用試験対策講座を開設する等の対策が必要であり、今後検討していきたい。
5	白保海岸(船着場周辺)環境共生観光地づくり支援事業のトイレ・東屋設置の進捗状況について	観光地づくりとしてのトイレ・東屋は大勢の見物客や観光客が訪れる6月のハーリー大会までには整備が必要と考える。	ハーリー大会までには整備したかったが、着工が次年度となり遅れている。完成後の運営については地域と連携し、地域の観光資源として活用できるようにしたい。
6	中央運動公園第二多目的広場の管理について	台風等での土砂の流出により、段差が生じ、試合中に子どもが怪我をする事例が発生している。年間を通して安全に使用できるよう管理する必要があると考える。	整備回数を増やす必要があると考えているが、公共施設の安全な管理については予算、組織、人的配置を含めて取り組んでいきたい。
7	TPP対策について	TPP対策の事業メニューの畜産農家への周知と申請等支援体制の充実のため、担当職員を配置するなどの支援体制をつくる必要があると考える。	畜産農家への事業メニューの説明会等、今後関係機関と連携をとりながら推進していきたい。
8	ヤギの生産支援策について	ヤギ消費の需要が高まる中、本市でもヤギを生産している農家が多いことから、新たな畜産業の一つとして生産支援に向けて取り組む必要があると考える。	頭数が増えればセリの開催も可能と考えている。生産振興に向け、一括交付金を活用した優良種畜の導入等の施策を講じていきたい。
9	スクールソーシャルワーカーの配置について	子どもの貧困やいじめ、学校現場での様々な問題に対してスクールソーシャルワーカーの配置が必要であると考ええる。	配置の重要性は十分認識している。市教育委員会として、予算面で関係課と調整をしながら今後の配置に向けた取り組みを進めたい。
10	尖閣諸島展示ジオラマについて	本市の行政区として多くの方々に知って頂くために、尖閣諸島展示ジオラマを空港や離島ターミナルに設置すべきと考える。	尖閣諸島の地形や植物について多くの方々に知って頂く目的で作成しているため、広報発信する方法として検討していきたい。
11	総合体育館の使用料金について	本市の総合体育館の使用料金は宮古島市の総合体育館の倍以上の使用料金になっている。市民が利用しやすい料金に改善する必要があると考える。	利用状況を把握したうえで、他市町村の類似施設とコストの比較を行い、効果的な施設の運営に努め、受益者負担の原則に基づき適正な使用料について検討したい。
12	8月1日「パインの日」の取り組みについて	八重山では出荷ピークを過ぎた時期に「パインの日」のイベントがあるが、独自のイベント等でさらにパイン産業の振興を図る必要があると考える。	八重山郡内のお荷時期にあわせて、パインの旬宣言のイベントの開催について産地協議会で検討していきたい。
13	高齢者運転免許自主返納支援事業の導入について	本市では、運転免許自主返納による優遇措置が受けられないため、独自の支援事業の導入が必要であると考ええる。	沖縄県警が実施する優遇支援制度について、本市でも実施して頂くよう検討をお願いするとともに、高齢者の交通事故防止に一層取り組んでいきたい。